

授業科目	科目概要・形式	配当年次		
社会福祉学特論IV (貧困・生活困窮者対策特論)	2 単位　　30 時間	1年 後期		
科目責任者	出雲 祐二			
担当者	出雲 祐二、村田 隆史			
1. 科目のねらい・目標				
<p>本講義の目的は、社会福祉学分野における貧困・生活困窮者対策の実態と研究動向について学ぶことである。貧困問題の解決は社会福祉の原点であり、古くて新しい課題といえる。また、今日の貧困問題は多様化しており、解決法にも総合的な視点が必要となっている。講義は各教員が進めていくが、最終的には受講者が関心のある分野の先行研究を分析し、研究課題を設定できるようにする。</p>				
2. 授業計画・内容				
<p>第1回 貧困・生活困窮者対策をめぐる今日の動向 (出雲、村田)</p> <p>第2回 貧困問題と社会福祉の関係 (出雲)</p> <p>第3回 貧困問題と社会福祉研究 (出雲)</p> <p>第4回 戦前日本の貧困問題 (出雲)</p> <p>第5回 戦後日本（1945年～1955年）の貧困問題 (出雲)</p> <p>第6回 戦後日本（1955年～1973年）の貧困問題 (出雲)</p> <p>第7回 戦後日本（1973年～1990年）の貧困問題 (出雲)</p> <p>第8回 諸外国の貧困問題 (出雲)</p> <p>第9回 今日の日本（1990年以降）における貧困問題 (村田)</p> <p>第10回 貧困問題と生活保護制度 (村田)</p> <p>第11回 貧困問題と低所得者対策 (村田)</p> <p>第12回 貧困問題と生活困窮者自立支援制度 (村田)</p> <p>第13回 生活保護制度の実態に関する事例検討 (村田)</p> <p>第14回 生活困窮者自立支援制度の実態に関する事例検討 (村田)</p> <p>第15回 貧困・生活困窮者対策に関する先行研究の分析 (村田)</p>				
3. 教科書、参考書				
受講者と相談した上で決定する。				
4. 成績評価方法				
講義での報告と討議 50% 最終レポート 50%				
5. 受講要件				
特になし。				
6. 社会人学生に対する配慮				
受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。				
7. その他				
特になし。				